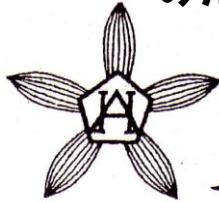


みんな「あったかチルドレン！」

東秋留



1月号

令和8年1月8日

あきる野市立
東秋留小学校



いじめは絶対許しません。



← 写真是、12月に実施した5年生の餅つき体験で、お米作り指導者の方に作っていただいた鏡餅です。

幅25cm程の立派な鏡餅で、中央玄関に飾りました。

米づくり活動では、毎年5年生が、種まき・田植え・稻刈り・餅つき・縄ない…と体験しています。

餅つきを体験して餅を食べ、児童は「手作りの餅は米の風味と香りが格別」と、感想を述べていました。

“好き”から始まる学びの形で「得意」を伸ばす”

校長 田中 淳志

“真白な雪をかぶった富士山の頭が、少しだけ顔を覗かせている…”。東秋留小の中央玄関から、この景色が楽しめる季節となりました。新しい年を迎える3学期がはじまりました。今学期もどうぞよろしくお願ひします。

さて、児童は皆、それぞれに素晴らしい「好き」をもっています。聞いてみると、これまでの経験の中から、「絵を描くのが好き」「虫に詳しい」「野球（スポーツ）が好き」「鉄道が好き」「友達を楽しませるのが好き」…、様々な「好き」が返ってきました。また、4月からの学習を参観する中で、「これ好き！」「もっとやりたい！」「これ得意かも！」…、そんな声を発する瞬間に立ち会ってきました。

3学期、東秋留小では、児童の「好き」を応援し、それを「自分の強み」へと昇華させ、後押しする取組

を強化していきます。「好き」をそのままに止めず、反復して取り組んだり、深く掘り下げてみたりして挑戦していくことで、「好き」から始まり、「得意」や「自信」へつなげていく学びの形で、児童の力を伸ばしていきたいと思います。

自分の「得意」なことに「自信」をもつと、児童の目の輝きが自然と変わってきます。そして…、その「得意なことの学び方」を、少し難しいこと・苦手なこと、敬遠してきたことにも応用して取り組んでいく…、今学期は、そんな児童の姿を目指して、学校全体で指導を進めていきたいと考えています。

ある1年生の12月の発表です。「縄跳びを楽しんだ。いろんな跳び方ができるようになった。どんなことにも縄跳びタイムのように頑張っていきたい。」…発表を、とても頼もしく感じました。

【東秋留小キャラクター「東(とう)もうう君」に「友達」と「妹」が！！】

児童会の発案で「東(とう)もうう君」に友達をつくる企画が実施されました。

突然の素晴らしい児童の発想は、さすが、東秋留の児童と感じました。どんな友達ができるか楽しみでした。応募数348点から、投票で「東(とう)もうう君」の友達が決定しました。そして、なんと、妹もできました。

友達には、6年生女子の作品が選ばれました。 東(とう)もうう君 のらぼうにやさん 東(とう)もこさん
妹も、6年生女子の作品です。



[友達]

[妹]